

たけやぶ

2020.9.2.
自主学童保育ささのはクラブ

〈地域の中の「ささのはクラブ」〉

地域の方達、こども達とつながりの中で活動しているささのはクラブは、今の状況の中でも、形を変え、工夫をしながら色々な取組をしています。やってみたら、新しい関わりや発見ができたこともあります。

5月 リモート開催した「バーチャル歓迎ハイク」の虫題は

⇒それぞれの学校の近くの地元に関わる歴史や自然に目を向けられました。

6月 フードバンク活動へのみなさんの協力で109点も集めました

⇒「フードバンク」の活動に目を向けられて新しい地域とのつながりの発見ができました。

7月 第3(第4)公園での毎日の「オニごっこ」「虫とり」

⇒学校の休校中は午前中から、学校が始まるとからは16:00頃から毎日毎日

オニごっこ、「王さまごっこ」だったり、「増えオニ」だったり、30数人が公園中走り回ると、遊んだ子ども「ぬえ入れて!」「イイヨ」色々な学校の色々な学年でもそれぞれに40〜50人学校で顔見知りの子達。

「あ! 知っている6年だよ!」「ささの6年はあの子だよ!」「オオ! 同じ6年か!」保育園(幼稚園)らしい小さい子も入ったり、関いごっこをしかけられて、わざと転んで喜ばれたり、遊びの輪が広がっています。

素手でつかまえる専門(セミ、カウチ、カマキリ、バク、トカゲ...)のささのはの人達は網を持つ子を見つけると「貸して!」「ネット貸したよ!」...

7月 こども文化センターの「七夕まつり」12月の「風の子まつり」の中止決定

9月 敬老の日恒例の里川老人ユニバ家との交流行事で、みんなで作った作品を地元のお年寄りの方達にプレゼントできるところになりました。

⇒自分のおじいちゃん、おばあちゃんを含めて、敬老の日に向けて作り始めます。今年は「しほり染」のティッシュ入れです。お楽しみに。

10月 「おたのしみ会」に向けた準備を始めます。広い会場を捜して、宮前市民館になったので、学校のお友達を招待できないけれど家族の人には見てもらえるといいです。

〈清津峡川遊び〉

暑い日で良かったね、とこの夏に初めて見た日です。

みなさんの色々な心遣いと、配慮で実現でき、最大限の予防策をとってもらって、本当にありがとうございます。

初回の「川遊び」デー 司会 超うまビュウ!! 土が5年

開、開村式は、6年5年中心にやりました。開村式ともいっしょに開村式ともいっしょにさつ

「ぼくは、修学旅行やキャンプなどの行事が中止になる中で、清津峡に川遊びに来て、本当によかったです。...今日は目いっぱい楽しかったです。」

開村式 感想 みよん、かみん、みん「荷物が軽くてびっくりです!」かみん「川の水が冷たかった。水が冷たかった...」

初めての清津峡川遊びは?

- ・下見に行った時より道が短く感じた
- ・みんなどいっしょだったからかな
- ・歩いてこども達がストンときれいにしちゃうって、おかしかった。
- ・修学旅行の子達とちっちゃいカニをさがしてカマキリで遊んだ
- ・高学年女子達と浮輪で流れて、いっしょに水かけられて...冷たかった!
- ・うまのアイスは? 「行かなかった。」

エ...??



1年も誰も水を泳がずに、息もつかずに夢中になって遊んでました。

たんたんの見たこども達

：往復の山道で

1年の...の後の後助役

「つかれたー、おぼろー」の...
「休ませるにかけるとおぼろいよ」
「ゆっくり同じスピードで歩くと疲れなよ」
と具体的なアドバイス。

便路では
「お前はいいじゃん、来年もあるんだから、おしはこれが今年で最初で最後なんだよ」
みんな気持ちを持って来てくれたなーと伝えています。

他にも
「川も美しいから」
→これも炭石の上で流れて食べられるおたのしみ

「川ガキ」達の1日を作って白らって、ありがとうございます。